

久慈市の人口と総合戦略について

人口ビジョン・総合戦略 策定の流れ

国の人口ビジョン・総合戦略

(H26.11 地方創生法（まち・ひと・しごと創生法）が成立・公布（H28.4.1施行））

・ H26.12 国の人口ビジョン（まち・ひと・しごと創生長期ビジョン）

総合戦略（まち・ひと・しごと総合戦略）を策定

【人口ビジョン】 2060年（R42年）に1億人程度の人口を確保する中長期展望

【総合戦略】 H27-R1年度の5か年の政策目標・施策

→国の通知「まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」により、全ての地方公共団体に、**遅くともH27年度中には地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定**を要請

県の人口ビジョン・総合戦略

・ H27.10 県の人口ビジョン（岩手県人口ビジョン 地方が主役になる日本を岩手から）

総合戦略（岩手県ふるさと振興総合戦略）を策定

【人口ビジョン】 2040年（R22年）に100万人程度の人口を確保する中長期展望

【総合戦略】 H27-R1年度の5か年の政策目標・施策

市の人口ビジョン・総合戦略

・ H27.10 市の人口ビジョン（久慈市人口ビジョン）

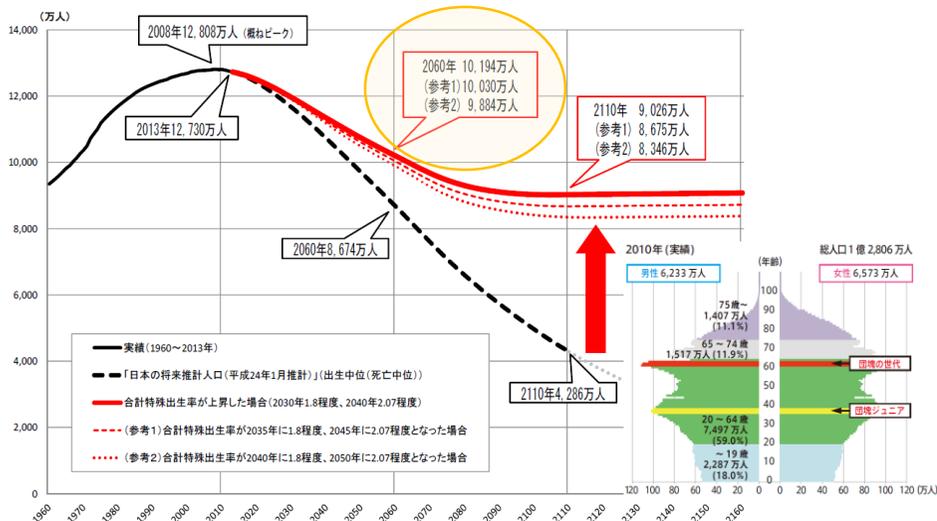
市の総合戦略（久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略～あまちゃんのまちづくり戦略～）を策定

【人口ビジョン】 2040年（R22年）に2.6万人程度の人口を確保する中長期展望

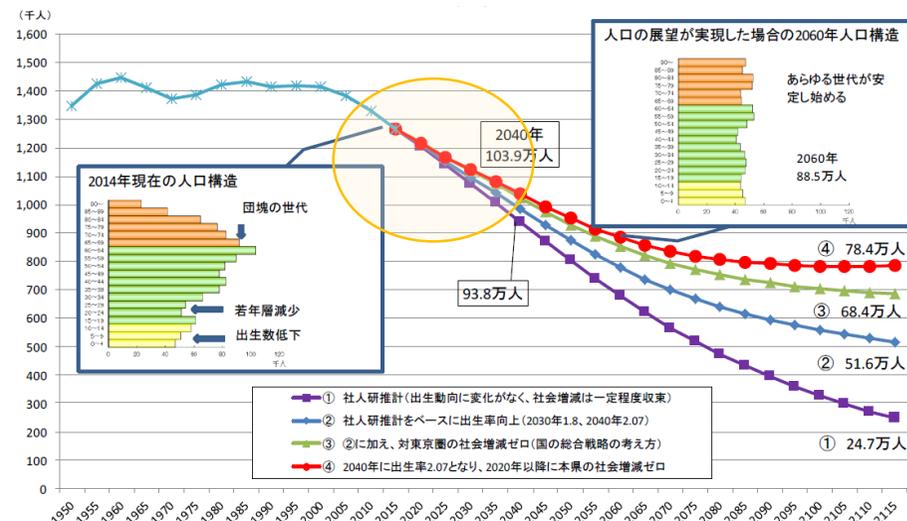
【総合戦略】 H27-R1年度の5か年の政策目標・施策

人口の将来展望

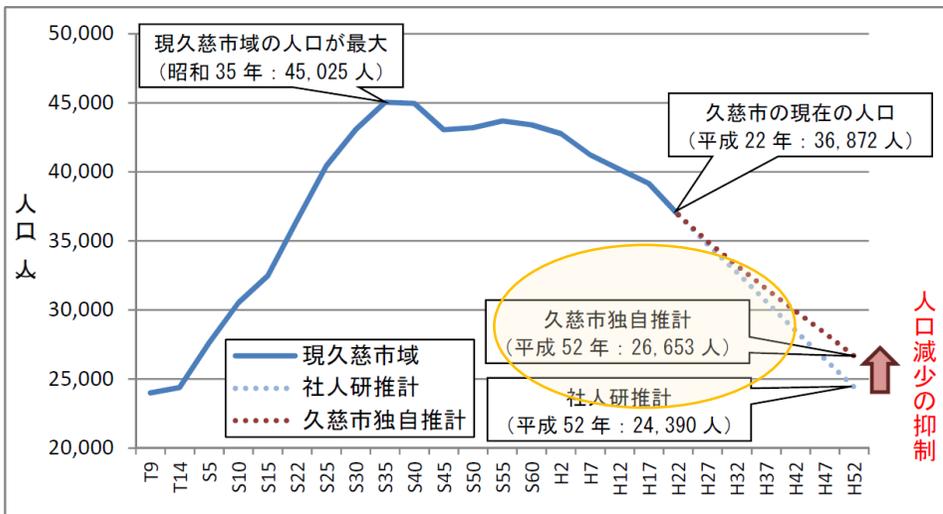
【全国】



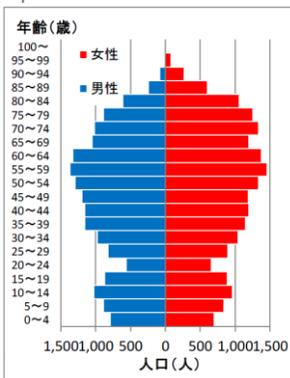
【岩手県】



【久慈市】



人口減少の抑制



全国：2060年に1億人
岩手県：2040年に100万人
久慈市：2040年に2.6万人
の人口確保を見込んでいる。

※国、県、市の人口ビジョンより

合計特殊出生率の推移

	久慈市	旧久慈市	旧山形村	岩手県	全国
昭和 58 (1983) 年～	-	2.02	2.52	1.87	1.76
昭和 62 (1987) 年～	-	1.97	2.02	1.74	1.56
平成 4 (1992) 年～	-	1.79	1.77	1.63	1.44
平成 10 (1998) 年～	-	1.69	1.73	1.55	1.35
平成 15 (2003) 年～	1.58	-	-	1.44	1.31
平成 19 (2007) 年～	1.64	-	-	1.45	1.38

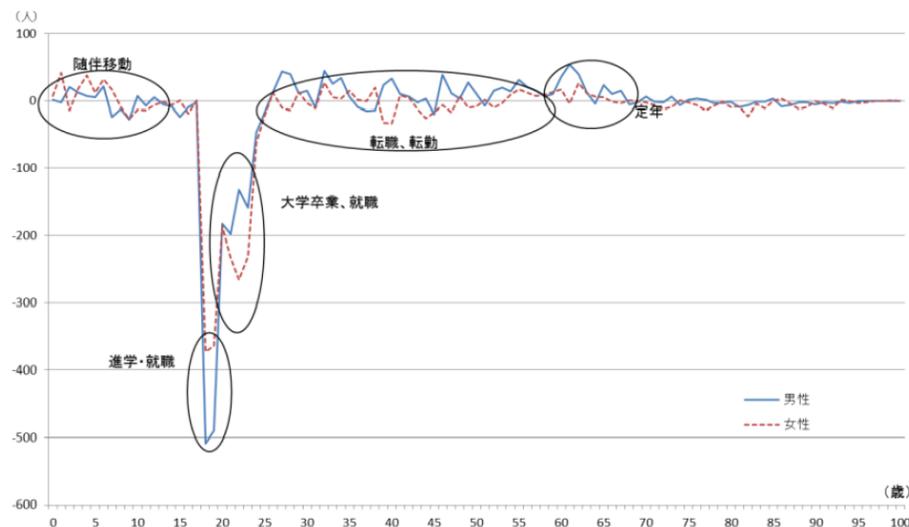
人口置換水準：2.07
2030年目標：1.80 (国ビジョン)

高校・大学への進学期の転出が、卒業後の就職期の転入を上回る傾向が続いている。

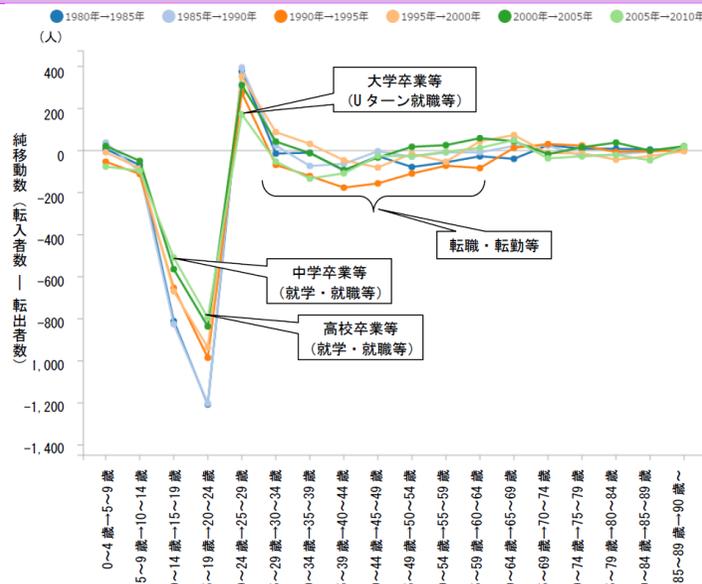
※県、市の人口ビジョンより

年齢階層別移動数

【岩手県】 (2014年)



【久慈市】



人口の変化が将来に与える影響

1. 地域経済への影響

生産年齢人口の減少 2010年 21,943人 → 2040年 12,817人
// の比率 59.5% 48.1%
・地域経済の衰退等のほか、産業活動の担い手が不足する懸念

2. 地域医療、福祉、介護への影響

老年人口の増加 2025年まで増加
後期高齢者人口（75歳以上） 2035年まで増加
・労働力の不足、医療・福祉・介護産業の縮小が懸念

3. 教育・地域文化への影響

年少人口の減少 2040年には2010年に比べて約2/3に減少
・部活動など学校教育への影響、地域文化の担い手の減少により地域文化が衰退する懸念

4. 地域公共交通への影響

・高齢者の増加により輸送需要が増加するものの、生徒や就業者の減少などにより経営効率の低下が懸念

5. 地域コミュニティへの影響

・中心部から離れた地域の人口減少・高齢化が更に進み、地域コミュニティが果たしてきた共助機能の低下が懸念

6. 財政状況への影響

・人口減少や地方交付税の減額、復興関連の財源の減少により、歳入は減少傾向。扶助費、公共施設の維持・更新経費は増加傾向。

目指すべき将来の方向

【全国】

- 若い世代の希望が実現すると、**出生率は1.8程度**に向上
- 人口減少に歯止めがかかると、**2060年に1億人程度**の人口確保
- 人口構造が「若返る時期」を迎える
- 2050年代に実質GDP成長率は、1.5～2%程度に維持

【岩手県】

- 2040年に100万人程度**の人口を維持

【久慈市】

- ①安定した雇用の創出 ②結婚・出産・子育てへの支援 ③久慈市への人の流れづくり ④震災からの復興と安心・安全なまちづくり